

《担当者名》専任教員 / ○千葉 利代 / 岡橋 智恵 / 大山 静江 / 秋元 奈美 / 山形 摩紗

【概要】

日々の臨床において比重の多い「歯科診療補助」の知識と技術を習得する。
国家試験に向けて知識の整理をする。

【学修目標】

歯科臨床における共同動作、術式、患者対応及び材料、薬剤、器具の取扱いができる。
症例に合わせたパキューム操作、フォーハンドテクニックの基本動作を習得する。
各種歯科材料の取り扱いができる。
国家試験受験に向けて歯科診療補助論について知識を再確認する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 3	オリエンテーション	年間講義内容の説明 国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式で項目別練習問題を行う 【総論】 概要 情報収集 患者への対応 診療時の共同動作 診療設備の管理 消毒・滅菌	千葉 利代
4) 6	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式で項目別練習問題を行う 【主要歯科材料の種類、取扱いと管理】 模型用材料 合着・接着・仮着用材料 印象用材料 歯冠修復用材料 仮封用材料 その他の材料	千葉 利代
7) 8	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式で項目別練習問題を行う 【保存治療時の診療補助】 前準備 窩洞形成 直接修復 間接修復 歯の漂白 歯髄処置 根管処置 外科的歯内療法 歯周外科治療	千葉 利代
9	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式で項目別練習問題を行う 【補綴治療時の診療補助】 検査 印象採得 顎間関係の記録 プロビジョナルレストレーション 補綴装置の装着	千葉 利代
10	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式で項目別練習問題を行う 【口腔外科治療時の診療補助】	千葉 利代

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		抜歯 小手術 止血処置 縫合 麻酔 患者管理	
11	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式 で項目別練習問題を行う 【矯正歯科治療時の診療補助】 器具・材料 検査記録 矯正装置の装着 矯正装置の撤去	千葉 利代
12	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式 で項目別練習問題を行う 【ライフステージに応じた歯科診療補助】 妊産婦の歯科治療 小児の歯科治療	千葉 利代
13	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式 で項目別練習問題を行う 【ライフステージに応じた歯科診療補助】 成人の歯科治療 高齢者の歯科治療 障がい児者の歯科治療	千葉 利代
14	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式 で項目別練習問題を行う 【エックス線写真撮影時の診療補助】 器具・材料 口内法撮影 写真の処理と管理 放射線の人体への影響と防護	千葉 利代
15	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式 で項目別練習問題を行う 【救命救急処置】 全身管理とモニタリング 救命救急処置	千葉 利代
16	国家試験対策講義 < 項目別練習問題 >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式 で項目別練習問題を行う 【口腔機能管理】 基礎知識 評価 機能障害別の対応法 対象者別の指導法 健康教育の対象	千葉 利代
17) 18	周術期の歯科衛生士	周術期の病態とその治療法について理解する。 周術期における術前・術中・術後の歯科衛生士の役 割について説明できる。	原田 文也
19) 24	国家試験対策 < 練習問題 ~ >	国家試験に準じて四肢択一形式および四肢択二形式 で練習問題（30問）を行う 練習問題の解説、見直しを行う	千葉 利代
27) 33	国家試験対策講義・解説	各種模擬試験などの結果から、低解答問題の解説、 見直しを行う。	千葉 利代
34	バキューム操作実技試験 (相互実習)	スケーリング実技試験時症例に合わせてバキューム 操作の実技試験を行う。 バキューム操作以外にも補助者としての役割を確認	千葉 利代 大山 静江

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		する。	
35	中間試験	出題範囲などの詳細は事前に講義担当者より指示する。	千葉 利代
36	中間試験	出題範囲などの詳細は事前に講義担当者より指示する。	千葉 利代
37) 45	模擬試験	国家試験対策として模擬試験を行う。	岡橋 智恵 大山 静江 千葉 利代 秋元 奈美 山形 摩紗

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験・中間試験 90%

実技試験 10%

講義態度の不良、提出物未提出の場合は減点とする

【教科書】

歯科診療補助論（医歯薬出版）

歯科材料の取り扱い（医歯薬出版）

歯科器械の取り扱い（医歯薬出版）

その他必要な教科書がある場合には、前もって連絡する。

【学修の準備】

1) 教科書、配布プリントを活用し予習する（30分）

2) 教科書、配布プリントを活用し講義や実習について復習する（30分）

【実務経験】

岡橋 智恵（歯科衛生士）

大山 静江（歯科衛生士）

千葉 利代（歯科衛生士）

秋元 奈美（歯科衛生士）

山形 摩紗（歯科衛生士）

原田 文也（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科衛生士としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度などを活用し、実践的な教育を行う